

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
TOEIC Bridge ワークショップ TOEIC Bridge Workshop		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
加藤 遼子	講義棟3階	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
全世界的に受験されているTOEICテストの初級・中級向けであるTOEIC Bridgeテストの出題方式や攻略法を学び、得点を伸ばすための英語力をつける。その中でも特に文法力、単語力、リスニング力の三点を中心に学んでいく。				
授業の目標				
①リスニング、及びリーディングセクションの出題傾向を知り、問題への取り組み方を学ぶことができるようにする。 ②TOEIC Bridgeの模擬試験を解くことで、本番の試験の際時間配分を知ることができるようにする。 ③TOEIC Bridgeに頻出する英単語を学ぶことで問題を解くスピードを速くすることができるようにする。				
授業の方法				
初心者向けのTOEIC Bridgeの総合問題集を解く。各章で取り上げられている文法の基礎的な解説の後、問題を解き、解説をする。更に、全6回TOEIC Bridge頻出単語テストを行う。				
学習の成果 (学習成果)				
①基礎的な文法事項を学んでからTOEIC Bridgeの問題を解くことで基礎的な英語力も身に着けることができる。 ②TOEIC Bridgeの模擬試験を複数回行い、各回該当箇所の問題を解くことで、問題を解くスピードを上げることができる。 ③リスニングにより英語の聞き取りの力も向上させることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明・評価方法説明			
第2回目	第1回TOEIC Bridge 模擬試験、解説			
第3回目	Unit1 People and Jobs			
第4回目	Unit2 Dairy Activities / 第1回単語テスト			
第5回目	Unit3 At School			
第6回目	Unit4 At Restaurant / 第2回単語テスト			

第7回目	Unit5 Shopping 受動態	
第8回目	Unit6 Hospital / 第3回単語テスト	
第9回目	第2回 TOEIC Bridge模擬試験	
第10回目	Unit7 At Bank・Post Office / 第4回単語テスト	
第11回目	Unit8 Travel	
第12回目	Unit9 At the Airport・Station/ 第5回単語テスト	
第13回目	公式TOEIC Bridgeテスト団体受験	
第14回目	Unit10 At the Hotel/ 第6回単語テスト	
第15回目	Unit11 Entertainments / 第13回目受講のテスト解説	
事前・事後学習	[事前] テキスト内の意味の分からない語や発音の分からない語を辞書で調べておく。頻出単語に目を通しておく。 [事後] 授業で扱った内容でわからなかった問題を繰り返し復習する。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	予習をしており、授業に意欲的に参加している。
レポート		
調査報告書		
小テスト	30%	各単語テストにおいて一定の点数を取っている。(全6回)
試験	30%	第13回目に行う公式TOEIC Bridgeテストにおいて一定の点数を取っている。公式TOEIC Bridgeテストを期末試験として扱う。
発表内容(態度含む)		
その他	10%	模擬試験において一定の点数を取っている。
教科書と参考図書		
Mikako Fujioka, Geoffrey Tozer著 『Fundamental Trainer for the TOEIC BRIDGE® Test』 (センゲージラーニング)		
履修上の留意点・ルール		
毎授業、英語辞書を持参すること。授業開始後30分以上たってからの入室は欠席扱い。欠席した際は欠席届を提出すること。この科目は受講者全員が公式TOEIC Bridgeテストを受験する。		